

こんにちは

うみ議会です

からくれな
るにみつく
くるとは

菅家
このたびは
ぬさもとりあへず
紅葉のにしき
手向山
神のまにまに

小野小町
花の色は
移りにけりな
いたづらに
我身世にふる
ながめせしまに

くもかくれ
にしよはの
つきかけ

天智天皇
秋の田の
かりほの庵の
苦をあらみ
わが衣手は
露にぬれつつ

われてもす
まにあはむ
とそおもふ

藤原家隆
諸人をはくくむ
誓いありてこそ
うみの宮には
あとをたれけめ

「かるた大会序歌」

中納言家持
鶺鴒の
渡せる橋に
置く霜の
白きを見れば
夜ぞふげにける

かるた体験が文化の薫りあふれる町をつくる

子ども会 かるた大会

見つめようこの百年、うみ出そう次の百年。



2020年に町制施行100周年

Koe Meter

声メーター

327

実施中!

議会広報が聞いたみなさんの声
2018.4から

もくじ

- ② 駅前に販売を
- ④ こんにちは民生委員・児童委員です
- ⑤ あればどげんなっとりますと
- ⑧ 一般質問町政を問う 5人が登壇
- ⑬ 委員会活動報告



2020.2.14

No. 76

うみ議会だより
12月定例会

うみカフェで 駅前に賑わいを 宇美町商工会女性部

駅前広場のシンボルである時計塔には、日建リース工業株からいただいたイルミネーションが施され、近づくクリスマスムードを演出していました。

宇美町商工会女性部主催によるうみカフェが、12月14日(土)に宇美駅前広場で開かれました。

コーヒー、タピオカ、ホットワインや焼きそば、唐揚げなどの飲食、フリマコーナーも設置され、多くの人で賑わいました。

17時からステージプログラムが始まり、ハンドベルやゴスペル、バンド演奏、子どもたちによるストリートダンスの披露、そして宇美町出身の「MOMO」さんによるスペシャルライブも行われ、駅前広場は大いに盛り上がりました。

議会広報常任委員会では、「まずは手に取って読んでいただける議会広報をつくろう」を目標に、毎月特集記事を組んでいます。

特集では町で開かれるイベントに取材に行き、主催者や参加された方々の声をたくさんお聞きしています。

町の活性化に役立てるためにも、議会広報を活用し、行政と町民の皆様をつなぐ架け橋になりたいと考えています。



宇美町出身の歌手MOMOさんの心温まる歌声が会場に響き渡る中、「宇美町に生まれ育ち、町が大好きです。商工会からお話があり、なにか自分に協力できることがあればと参加しました。

手島健太さん、パーカッションのチャーリーさんとともに参加しました。地元貢献したいと思います。」と地元への想いを語っていただきました。



ハンドベルのサークル「レインボークラブ」は、し～ず・うみ(働く婦人の家)で、第2日曜日の午前中に10人で活動されています。

クリスマスの雰囲気盛り上げようと、「きよこの夜」「もろびとこぞりて」「慈しみ深き」の3曲を演奏されました。

「ハンドベルはリズムに合わせて頭も使うんです。認知症の予防にとってもいいんですよ！一緒に活動する新しい仲間も募集しています。」と笑顔で語られました。

会場でお聞きしたみなさんの「声」



商工会女性部の皆さんが笑顔で販売されているホットワインで、心も体も芯から温まります。コーヒーとシフォンケーキのセットも大人気でした。



「楽器は弾けなくても、歌なら誰もが参加できる」をコンセプトに、青少年の健全育成と町の活性化をめざして活動されているゴスペルグループ「Umiプロジェクト」の皆さんは第1土曜日の11時からし〜ず・うみ（働く婦人の家）で活動されています。日頃の練習の成果で5オクターブの素晴らしい歌声を披露されました。



山内クリーニング店の山内光治さん。「うみカフェは雰囲気が良いですね。とにかく人が集まるのが素晴らしい。町制施行100周年が盛り上がるよう、今度博多華丸大吉さんが来た時に、しっかり宣伝しとくけんね。」



商工会長の合屋昭輝さん。「宇美町をとにかく楽しい町にしていきたい。今回は女性部が本当に頑張ってくれた。我々男衆は縁の下の力持ちとして輝く女性をしっかり支えていきます。」



原田にお住いの鬼塚正義さん。「他の市町は地域ごとに盛り上がるイベントがある。来年の町制施行100周年に向けて、各コミュニティごとに、しっかり盛り上げていきたい。」



今年宇美町に転入された光正寺にお住まいの西さんファミリー。「子どもがまだ小さいので通学時は不安でしたが、いつも見守りボランティアの方々に優しく声を掛けていただき、安心して送り出せています。

宇美町は、緑も多く子育てするにはとてもいい町です。引っ越してきて本当に良かったです。」

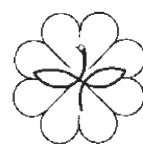


地域の情報やニュースをほっこりと掲載する季刊誌「うみほっこり通信」を発行されている「うみコンサル」を営む上野久子さんは、今回は趣味を生かして雑貨のフリーマーケットを出店されました。

宇美町の素敵な製品（商品）やお店をたくさん紹介したいと、チラシの企画作成等をされています。



活動を知っていただきもっと身近な存在に
こんにちは民生委員・児童委員です
 助けられ上手になってほしい



左から土生政勝会長・渡邊幸次副会長・徳永妙子副会長

土生会長は井野地区で20年、渡邊副会長は障子岳地区で約11年、徳永副会長は明治町地区で9年間委員をお務めになられています。

協議会役員の皆さんからは、「定数43名のうち委員が選任されていない地域が4地区あるので、できるだけ早く未定の地域をなくしたい。そのためにも、私たちの活動を町民の皆さんに広く知っていただくことが大切だ。」

また、「私たちだけで地域すべてを見守ることは難しい。住民の皆さんも、例えばポストに新聞や郵便物が溜まっていないか、子どもを怒鳴るような声が頻繁に聞こえてはいないかなど、目配せ・気配りをしていただけるとありがたい。そして、気づいたことがあったら、遠慮なく私たちに一声かけていただきたい。」と語られました。

最後に、「私たちは助け上手になりたいですし、地域の皆さんは助けられ上手になってほしいと願っています。」と想いを述べられました。

昨年の12月に民生委員・児童委員の改選が行われました。9名が退任、33名が再任され、6名が新しく委嘱状の交付を受けられました。

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱されたボランティアで、全国で23万人が活動しておられます。

また、住民からの医療や介護、子育ての不安などの生活上の心配ごとや困りごと相談に応じ、その課題が解決できるよう、必要な支援への「つなぎ役」になっていただいています。

宇美町は今後急激な高齢化が進み、民生委員・児童委員が担う役割はますます大きくなることが予想される中、協議会役員の声をお聞きしました。



徳永委員の訪問に、明治町自治会の吉松さんは「独りぼっちじゃないと感じる。いつも気にかけてくれる人が身近にいてくれるのは、本当にありがたい。」と満面の笑みで語られました。

子どもたちの見守り活動に参加された原田小学校区の委員の皆さん



保護者の方々からも「安心して子どもを学校に送り出せています。」と感謝の声が寄せられています。



子どもたちの元気な笑顔とあいさつが、なによりの励みになっています。

あれはどげん なつとりますと？



定例会で議員が出した一般質問などは、まちづくりにどう生かされているのでしょうか。その後を追います。

一般質問など

Q1. ふるさとを離れている方々に、宇美町の良さや魅力を再認識し、応援していただけるよう「宇美町町人会」の設立を

その後の経過

A. 令和元年11月30日に東京で(仮称)関東地区宇美町町人会が発足式が開催。会長には、東京在住の永翁(ながおさ)利成氏を選任。出席者は、町制施行100周年アンバサダー(大使)の中西英敏氏や山口幸三郎氏をはじめとする総勢約40名が参加。宇美町ゆかりの歌手かおるさんが歌を披露し、会に花を添えてくれた。



就任のあいさつをされる永翁氏

Q2. 隣接民地に越境している防災無線(ゆりが丘)の移設工事は、費用がかかりすぎる。移設工事を行わず、越境部分の土地を購入するべきでは。

A. 令和元年6月定例会で議会の指摘を受け、防災無線の移設工事から土地購入に切り替えて、同年9月定例会で補正予算を計上。防災無線の設置の際に、私有地との境界確認を怠ったことを執行部は謝罪した。
移設工事費用 約246万円
↓
土地購入費他 約 46万円
補正減額費用 約200万円



ゆりが丘の防災無線用地購入(斜線部)

Q3. 安全・安心のまちづくりのために、町民の生命財産を守る防災防犯に特化した危機管理室または課等を新設しては。

A. 「安全に暮らせるまち」を第6次総合計画の基本目標に掲げている。組織機構の再編に取り組んだ結果、令和2年1月1日に「危機管理課」を新設。



西館2階に設置

12月定例会

うみハピネスが子育て・教育の拠点に生まれ変わる

庁舎外壁屋上防水改修工事 工事請負契約締結

令和元年12月定例会は、6日から13日までの8日間の会期で開かれました。

町長から提出された案件は工事請負契約案1件、指定管理者の指定案1件、条例案11件、予算案10件で、すべてを原案のとおり可決しました。

また、人事案2件を選挙・選任し、発議2件を可決しました。

一般質問では5議員が登壇し、7項目について町政を質しました。

PickUp
庁舎外壁・屋上工事が始まる。駐車場の確保は？

令和元年12月定例会は、6日から13日までの8日間の会期で開かれました。

町長から提出された案件は工事請負契約案1件、指定管理者の指定案1件、条例案11件、予算案10件で、すべてを原案のとおり可決しました。

また、人事案2件を選挙・選任し、発議2件を可決しました。

一般質問では5議員が登壇し、7項目について町政を質しました。

PickUp
うみハピネスが子育て・教育の拠点に。これまでの機能はどうなる？

宇美町健康福祉センター条例の一部改正

令和2年1月行政組織機構の再編により、うみハピネスが健康福祉センターからこども教育総合支援センターに変更となることによる条例の改正について審議。

答
駐車場の確保に向けて調整を行う。
(全員賛成で可決)



混み合う本庁舎駐車場

問
現在の健康福祉センターとしての役割、機能はどうなるのか。

答
いきなりその機能・役割がなくなるわけではなく、総合計画にうたっている子育て・教育の充実を具現化するため、従前の機能は残しつつ、子育ての方向に徐々にシフトしていきたい。

問
京都の子育て支援センターを視察した際、図書館の機能も有し、子育て支援に関する情報が充実していた。そういった機能を持たせられないか。

答
教育関係では教育相談室や適応指導教室など、子育て関係では療育センターやこども家庭総合支援拠点を設置する構想をまとめているところである。

問
トレーニングルーム、成人の健診などの今後の方針は。

答
トレーニングルームの位置づけについては現段階では未定であり、検討をしていく。今後の方針としては、地域での運動、地域での検診という形も進めていきたい。

問
トレーニングルーム、成人の健診などの今後の方針は。

答
トレーニングルームの位置づけについては現段階では未定であり、検討をしていく。今後の方針としては、地域での運動、地域での検診という形も進めていきたい。

問
トレーニングルーム、成人の健診などの今後の方針は。

答
トレーニングルームの位置づけについては現段階では未定であり、検討をしていく。今後の方針としては、地域での運動、地域での検診という形も進めていきたい。

補欠選挙・補欠選任

宇美町・志免町衛生施設組合 議会議員の選挙

飛賀 貴夫 氏

議会広報常任委員の選任

飛賀 貴夫 氏



教育委員会がうみハピネスへ

答
それ以外に取り込める部分は調査研究あるいは視察を行いながら研究していきたい。
(全員賛成で可決)

令和元年12月定例会 表決一覧 審議した議案と各議員の賛否

○は賛成 ×は反対を表しています

議案名	議員名											審議結果	討論	
	丸山康夫	平野龍彦	安川繁典	藤木泰	入江政行	吉原秀信	黒川悟	脇田義政	小林征男	飛賀貴夫	白水英至			南里正秀
平成31年度 宇美町上水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決	

※古賀ひろ子議長に表決権はありません

全会一致で承認・可決した議案

議案名
工事請負契約の締結・・・庁舎外壁屋上防水改修工事 請負人 (株)岩堀工務店 宇美営業所 請負契約額 1億7,923万5,100円
指定管理者の指定・・・宇美町働く婦人の家(し〜ず・うみ)の指定管理者に社会福祉法人宇美町社会福祉協議会を指定 令和2年4月1日から3年間
宇美町保育園条例の一部改正・・・令和2年4月1日から町立貴船保育園が民営化
宇美町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正・・・災害援護資金の貸付けに関する改正
宇美町老人福祉センター条例の一部改正・・・ヘルストロン使用料の無料化
宇美町健康福祉センター条例の一部改正・・・うみハピネスを子育て・教育の拠点施設(宇美町こども教育総合支援センター)として利用
宇美町道路占用料条例の一部改正・・・道路法施行令の改正に伴う占用料の改正
宇美町行政財産使用料条例の一部改正・・・改正された宇美町道路占用料条例との整合性を持たせるための改正
宇美町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正・・・法の施行に伴う額の改正等
宇美町附属機関に関する条例の一部改正・・・町長及び教育委員会の附属機関の改正
宇美町議会議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正・・・法の改正に伴う補償基礎額の整備
行政組織機構の再編に伴う関係条例の整理に関する条例・・・令和2年1月1日行政組織機構再編に伴う組織名称の改正
宇美町議会委員会条例の一部改正・・・令和2年1月1日行政組織機構再編に伴う総務建設、厚生文教各常任委員会の所管の見直し
平成31年度 宇美町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)・・・歳入歳出113万7,000円増額し、予算総額4億3,591万3,000円
平成31年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)・・・歳入歳出117万9,000円減額し、予算総額39億9,726万9,000円
平成31年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計補正予算(第1号)・・・収益的支出52万2,000円増額し、計8億8,700万1,000円 資本的収入170万円増額し、計6億5,996万8,000円 資本的支出6万1,000円増額し、計9億18万7,000円
平成31年度 宇美町一般会計補正予算(第4号)・・・歳入歳出2億6,343万8,000円増額し、予算総額128億2,695万1,000円
宇美町職員の給与に関する条例等の一部改正・・・人事院勧告に伴う改定
平成31年度 宇美町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)・・・歳入歳出12万4,000円増額し、予算総額4億3,603万7,000円
平成31年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)・・・歳入歳出21万1,000円増額し、予算総額39億9,748万円
平成31年度 宇美町上水道事業会計補正予算(第3号)・・・収益的支出16万4,000円増額し、計6億8,412万2,000円
平成31年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計補正予算(第2号)・・・収益的支出16万7,000円増額し、計8億8,716万8,000円
平成31年度 宇美町一般会計補正予算(第5号)・・・歳出(人件費)のみの補正467万円増額(歳出内の調整のため予算総額変更なし)
厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出

一般質問 町政を問う5人が登壇！

白水 英至 議員 —— 9P

◆ゴミ処理施設建設の計画は

飛賀 貴夫 議員 —— 10P

◆宇美町公共施設再配置計画は

入江 政行 議員 —— 11P

◆少子化を食い止める取組を
◆宇美町において就農増加の
推進・生産性向上への取組を

丸山 康夫 議員 —— 12P

◆福祉バスの運行の見直で
交通体系の向上を
◆宇美町公共施設再配置計画の
進め方を問う

平野 龍彦 議員 —— 13P

◆町制施行100周年を
子どもたちの主権者教育元年に

一般質問とは定例会で行われ、議員が町政全般について、町長などの執行機関の考え方や方針などを議員個人として問いたですことです。

ごうらに 河原谷の大つらら（通称：難所ヶ滝）

厳冬期には岩清水が凍りつき、高さ20mもの見事なつららになることがある。

一本松公園（昭和の森）から1時間半ほど登った河原谷にできる。

ゴミ処理施設建設の計画は

答 5町組合の事業推進がベスト



白水 英至 議員

問 家庭から出る可燃ゴミは、篠栗町のクリーンパークわかすぎでRDF固形燃料に加工して、大牟田リサイクル発電所に搬入し燃料としている。

答 大牟田リサイクル発電所の稼働計画は、県の指導により令和4年度まで延長となり、クリーンパークわかすぎも地元住民と協議され、令和10年3月まで延長となった。稼働計画終了まで10年を切っているが、今後のゴミ処理計画は。

答 町長 新たにゴミ処理施設を建設するには、最低でも7、8年の事業期間が必要である。クリーンパークわかすぎの稼働計画を考えた場合、次期ゴミ処理施設の整備に着手する必要があると認識している。

問 ゴミ処理施設の必要経費等を考えると、単町や2町で取り組む

問題ではない。

大きな施設は広域的に共同利用、共同運営を考えるべきと思うが。

答 町長 近年の膨大化する行政運営、これに伴う財政確保、新規施設に伴う場所の確保、ランニングコスト、後世への負担軽減等を考えると広域化によるスケールメリットを生かしていく方が望ましいと考えている。

問 施設の建設には、住民が快く受け入れてくれるものもあるが、ゴミ処理施設のような迷惑施設は拒否される。

答 町長 将来的な視点を見据え、須恵町、粕屋町、篠栗町の3町組合と連携し、当町と志免町を含めた5町組合での事業推進がベストだと思う。

問 大牟田リサイクル発電所の稼働終了にな

ると解体の問題が発生すると思うが費用はどのようになるのか。

答 環境課長 現在の大牟田リサイクル発電事業は、県内5つの組合で運営されている。

費用負担総額は、7億1,400万円、そのうち、須恵町外二ヶ町清掃施設組合、いわゆる糟屋5町分の負担額が約2億5千万円見込まれ、平成30年度から令和4年度までの5年間で毎年5千万円の積立を行う。

問 クリーンパークわかすぎの運営者は、須恵町外二ヶ町清掃施設組合で、須恵町、粕屋町、篠栗町の3町で構成されており、当町と志免町は、3町組合に委託している。

答 このため、構成町である3町組合の協議により地元対策費や搬入道路整備費等が決定され、当町と志免町がそれに従うこととなる。

今後、3町組合と当町と志免町が共同でゴミ処理施設の建設、運営を行うならば、建設計画の協議から5町対等の立場を望むが。

答 町長 3町組合では、令和9年度までのクリーンパークわかすぎ施設稼働延長に伴う地元住民との協定書を取り交わしている。

このため、協定期間まで5町による組合構成が極めて困難であると思われるが、5町組合として、ゴミ処理施設の運営が行えるようスピード感を持って協議を進めたい。



クリーンパークわかすぎ (RDF化)



飛賀 貴夫 議員

宇美町公共施設 再配置計画は

答 おおむね10年ごとに
見直しを行う必要がある

問 宇美町公共施設再配置計画の目的と基本的な考えは。

答 財産活用課長 将来人口は、40年後に約2割、17%の人口減少が見込まれ、働き盛りの層が減少することによる税収の減少や高齢者の増加に伴う扶助費の増大等で、すべての公共施設を維持、更新することが困難と考える。

こうした背景から、次世代に承継可能な公共施設等を引き継ぎ、安全で効果的な行政サービスを維持するため、宇美町公共施設再配置計画を平成31年3月に作成した。

計画での施設の方向性は確定事項ではなく、町の財政状況や社会情勢の変化に影響を受ける内容であるため、概ね10年毎に見直しが必要であり、現時点での基本的な考えを示した。

問 公共施設再配置計画による効果見込みは。

答 課長 現状すべての施設を更新、存続した場合、維持更新費は40年間で約431億円、年間で約11億円が必要で、再配置計画の全体方針を実現すると40年間の総額で約192億円の削減効果を見込んでいる。

問 働く婦人の家しず・うみの今後の方向性について伺う。

答 施設をハード面の建物特性とソフト面の利用特性の2面から総合的に評価した1次評価と、避難所施設としての位置づけや、代替え性などを考慮した2次評価からなる総合施設評価を行ったと聞いているが、評価の結果は。

答 課長 平成元年に建設され築31年となり、改修時期を迎えている。1次評価は、機能、施設ともに改善が必要でD評価となり、民営

化や統廃合など、施設の廃止を前提とする。

その結果、2次評価は他施設への統合、複合化となり、機能を移転し施設は廃止という方向になった。

計画策定においては幅広い意見をもとに慎重な方針決定が必要なことから、住民ワークショップや学識者等からなる庁外委員会を立ち上げ議論、意見をいただき、最終方針を定めた。

問 令和4年度までに施設の廃止の方向で進むのか。

答 課長 利用者の方々と協議を行いながら、その方向でめざしていく。

問 利用者の方々は、どのような説明をされたのか。

不確実な情報が独り歩きをしている。利用者ファーストで、丁寧かつ理解を得

て、納得が得られる説明が必要では。

答 まちづくり課長 指定管理者の宇美町社会福祉協議会及びしず・うみ実行委員長に数度にわたり、この計画の説明を行った。

また、同実行委員会やサークルの代表者への説明会を開催した。現在、サークル団体に対してアンケートを実施しており、これをもとにサークルへの説明等を実施する予定。

移転先等も含め、今後より丁寧な説明を行い、利用者の方々へ理解いただくよう努める。



しず・うみ



少子化を食い止める 取組を

答 うみっ子プランを策定し、 少子化対策を強化

入江 政行 議員

問 少子化問題は国の問題と捉えず、地方からの取り組みが必要不可欠と考えている。少子化問題には、明白な原因がある。ジェンダー（文化・社会的な男女の役割）の構造というのは、世の中の社会的動向と密接に関係・関連している。出生率の低下、未婚率の増加の背景には、収入が不安定な経済的要因が第一に挙げられる。2060年には、人口は8,674万人まで減少、1990年代以降、高齢化が進むにつれて社会的負担が増加し、深刻化している。年金・医療・福祉などの高齢者人口に関連する社会保障給付費は上昇し、崩壊する可能性がある。少子化と高齢化との関係をどう捉え、どのような対策をとるのか。

答 子育て支援課長 少子化と高齢化が同時に進行するという状

況、人口構造にアンバランスを生じさせ、労働力人口の減少、社会保障費負担の増加、地域社会の活力低下、社会経済への深刻な影響を与える。国の報告では、高齢者1人を支える生産年齢人口の人数は1960年11.2人、2014年2.4人、現状の出生率で推移した場合2060年1.3人、2110年1.2人に減少すると推計されている。平成元年の合計特殊出生率（1人の女性が生涯に生む子どもの数）が過去最低となったことを契機に国において少子化対策の取組が強化され、当町においても平成27年うみっ子プランを策定し、少子化対策に取り組んでいる。

問 全国規模で人口減少が進んでおり、このことによる学校の統廃合が行われている。

2005年までに人口減少した都道府県は30に及び、地方の市町村では、2000年代に入って、学校の統廃合が行われている。少子化による学校の統廃合が進む中、対策は考えているか。

答 学校教育課長 文部科学省の中央教育審議会において、少子化問題に教育として、どう対応していくのか検討され、少子化が教育に及ぼす影響を5点挙げています。

- ①子どもの切磋琢磨の機会が減少すること。
- ②親の子どもに対する過保護・過干渉を招きやすくなること。
- ③子育てについての経験や知恵の伝承、共有が困難になること。
- ④学校や地域において一定規模の集団を前提とした教育活動や、その他学校行事や部活動、地域における伝統行事等が成立しにくくなること。

その他の質問
◆宇美町において就農増加の推進・生産性向上への取組を。



(100周年記念ロゴ入り木製スプーン
出生祝にプレゼント)

⑤よい意味での競争心が希薄になること。全国的に少子化の影響による学校の統廃合の事例が数多く報告されている。小中一貫校、義務教育学校の取組など、創意工夫をし、教育環境を整備する。また、児童生徒数の動向を注視し、魅力ある学校づくりを進めていく。

福祉バスの運行見直しで 交通体系の向上を



丸山 康夫 議員

答 宇美駅前広場のターミナル化に 取り組みたい

問 宇美町総合戦略評価シートの中で、町民の利便性の向上の項目では「福祉バスは利用者のニーズを把握しながら、運行改善を図り、利便性の向上に努める」と記載されている。総合戦略の実施状況は。

答 まちづくり課長
西鉄と協議を行った。協議の中では、福祉バスの利便性を向上させると民業を圧迫することになるため、在来線の減便や廃線を行う場合があると西鉄から通告された。

問 現在の福祉バスのルートは、当時福祉課が校区コミュニティからの意見を聞き協議を重ねて決定したため、尊重しなければならない。

問 福祉バスの利用者数及び経費は。
答 課長 平成26年度の利用者は、10万1,191人、30年度は6万4,293人で、約36%の減少。26年度の運営

経費は、2,500万円、30年度は3,960万円で、約37%の増額。

問 今後宇美町は急激な高齢化が進む。また、高齢者の免許返納の問題もある。

答 課長 太宰府方面は大学や高校が多く、宇美駅を起点とし太宰府方面への路線を新設・増設することで、糟屋地区全域から学生や通

問 福祉バスの運行の見直しと宇美駅前広場のターミナル化で、交通体系の見直しを行うことは喫緊の課題だと思

問 今後宇美町は急激な高齢化が進む。また、高齢者の免許返納の問題もある。



福祉巡回バス ハピネス号

勤者の増加が見込めるという話も西鉄として

宇美駅前広場のターミナル化にはぜひ取り組みたいと考えている。

宇美町公共施設再配置計画の進め方を問う

問 宇美町公共施設再配置計画が策定された。しず・うみ（働く婦人の家）は、2022年度までに廃止すると記載されている。

他の施設に働く婦人の家としての機能を移転できるのか。

答 まちづくり課長
機能移転先は、図書館（地域交流センター）をベースに、中央公民館、南町民センターとなる。

問 主催事業を中心とした婦人の家の機能は確保できるのか。
答 課長 男女共同参

画等の機能は法律のこともあり、今後対応を

問 ボランテニアセンターの移転先は検討しているのか。

答 課長 地域交流センター内での設置を検討している。

問 施設の買い手がつかなければ、築31年しか経っていない建物を町の負担で取り壊し更地になることを懸念している。

そうなる」と現在の利用者との信頼関係も崩れると思われるが、今後の対応は。

答 町長 町民の皆様や利用者の皆様との協議の場がなかったことについて申し訳なく思っている。

今後の再配置計画の進め方についても利用者に対して説明を行うとともに慎重かつ丁寧な対応を心がけていきたい。



平野 龍彦 議員

町制施行100周年を 子どもたちの主権者教育元年に

答 学校と社会をつなげる 教育活動を進める



力作揃いの選挙ポスターコンクール



いつもの授業と違った雰囲気の出前授業

問 昨年の町議選の投票率は、町制施行以来最低の約43%。特に20代である若者が著しく低かったが、要因は。

答 住民課長 選挙管理委員会として大変憂慮。主権者教育への取組が重要である。

問 投票率低下を踏まえての選挙啓発活動は。

答 課長 期日前投票の告知、小中学生の選挙ポスターコンクール、地元の高校に主権者教

育の出前授業などを実施した。

問 総務省の主権者教育アドバイザー制度の活用を。

答 課長 下関市選挙管理委員会の主権者教育教材を取り寄せる。

問 投票立会人と選挙事務に若年層の起用を。

答 課長 若い世代の経験は重要であるため、検討する。

問 投票区数8か所の時の投票率は平均70%。今では5か所だが、住民が投票しやすい環境となっているのか。

答 課長 期日前投票数は増加。投票の機会には各段に増えている。

問 宇美駅に近い西鉄ストアを投票所に。

答 課長 検討する。

問 投票所までの移動支援が特に必要な選挙弱者への投票機会の確保を。

答 課長 これまで検討をしていないが、今後研究したい。

問 数年に一度ではなく、毎年定期的な児童生徒の議会見学は、説得力のある主権者教育になるのでは。

答 教育長 重要な教育方式である。学校と社会をつなげる教育活動を進める。

答 学校教育課長 教育課程で様々な体験を

取り入れる。

問 主権者教育につながるキャリア教育を。

答 課長 職場体験活動の受け入れ先が限られ、各校苦勞している。

問 篠栗中・仲原小で実践の「教室を社会とつなげるNIE（教育に新聞を）」の活用を。

答 課長 新聞の活用は授業に反映したい。

問 次の総合戦略・計画の策定に多くの子どもたちの参画を。

答 町長 無限の可能性を秘める子どもたちの参画を期待する。

主権者教育とは
社会で起きている出来事を自ら考えて判断し、主体的に行動する主権者を育てること。

NIE（Newspaper In Education）とは
学校・図書館等で新聞を教材として活用し、興味や関心の幅を広げること。

現在では、全国500校以上の小中学校が活用している。

Topics

一本松公園キャンプ場できれいなトイレが使えるよ

総務建設常任委員会（建設・都市計画課報告）

平成31年度一本松公園トイレ改修工事監理業務委託締結の報告がありました。

業務概要は、一本松公園のトイレ改修に伴う工事監理業務で、詳細な外観を踏まえた設計図書との照合や、工事材料及び設備機器等の構造について、指導・助言を行うものです。

主な質疑・応答

問 景観監修・指導とあるが、成果品はどのようなものか。

答 福岡大学柴田教授、東京芸術大学藤村教授の専門的指導・助言をいただき、工事の打合せ簿、変更等に関する業務内容の精査などに関する報告書が出る。

問 トイレ改修の進捗状況は。

答 12月定例会の補正予算で増額計上の外構工事を含んだ周辺整備工事も含め、2月末供用開始を目指して、鋭意進めていきたい。



間もなく完成予定

Topics

ため池耐震診断で災害の未然防止を

総務建設常任委員会（農林振興課報告）

農林振興課より、平成31年度宇美町ため池耐震診断業務委託の入札・随意契約報告がありました。

宇美町内のため池の延命と災害を未然に防止するために、ため池の耐震診断を県の補助金の要件に基づき、2か年にわたって実施するものです。

今年度は、大久保池、桐ヶ坂下池、長谷池、金坪池における地質調査、測量調査、設計業務委託一式が行われます。

主な質疑・応答

問 農業用ため池が町内に24か所あるが、農地の減少で使われなくなった池もあると思われる。大雨対策の治水用調整池として利用できないか。

答 今後の課題として地元と協議しながら運用を考えていきたい。

問 金坪池は急斜面で高低差もあり、その下には集落もある。災害時には決壊の恐れもある。

水田も現在は休耕状態と思われるが、農業用水として利用されているのか。

答 金坪池は現在も農業用として利用されている。

金坪池の堰堤



上流側から見た様子



下流側から見た様子

高校生が小中学生への学習支援や特産品開発

宇美町と宇美商業高校が連携協定を締結

厚生文教常任委員会（学校教育課報告）

令和元年10月31日宇美町と地元の宇美商業高校が連携協定を結び、まちづくり・教育・地域活性化の3分野で高校生たちが、町へ協力してもらえるようになりました。

これまでも児童のそろばん指導や地域の祭り、清掃活動でも汗を流してくれていました。また、宇美商が授業の一環で開発したオリジナル商品の甘酒とかりんとうが、町のふるさと納税返礼品に採用されるなど、町へ大きな貢献をしてもらっていましたが、今後更に町との連携が深まります。

生徒会の大野夢沙司会長は「町民に信頼され、応援してもらえるよう、これからも地域貢献を頑張りたい。」と話してくれました。

議会としても、宇美商の生徒のみなさんの主権者教育のお手伝いのできればと考えています。



主な質疑・応答

問 防災に関する協議は行われなかったのか。

答 今後は、防災に関する連携も視野に入れて協議を進めたい。

機構改革により常任委員会の所管が変わりました

総務建設常任委員会

- ・総務課
- ・危機管理課
- ・財政課
- ・税務課
- ・会計課
- ・管財課
- ・都市整備課
- ・上下水道課

新設課長の心意気

藤木 義和 危機管理課長



危機管理課は、町民の生命財産を守ることに加え、災害を未然に防ぐ手立てや自主防災組織設立の推進、防災知識の伝達等を主な業務としています。

「居安思危(備えあれば憂いなし)」の思いで防災・減災対策を進めていきたいと考えています。

厚生文教常任委員会

- ・まちづくり課
- ・住民課
- ・健康福祉課
- ・環境農林課
- ・学校教育課
- ・社会教育課
- ・こどもみらい課

安川 禎幸 こどもみらい課長



「うみハピネス」は、令和2年1月より「宇美町こども教育総合支援センター」に生まれ変わりました。従来の「子育て支援課」から「こどもみらい課」となり、出生から義務教育までの「こどもと教育」について切れ目のない支援体制をとってまいります。ぜひ、一度お越しください。



本館窓口もリニューアル

町民の皆さまへ 時任元町議会議員について（報告）

昨年10月に当時現職の町議であった時任氏が逮捕されました。報道がなされるまで事件の詳細がわからず、議会としても情報収集に努めている最中、翌月の14日に本人からの辞職届が届き、辞職を許可する形になりました。

議会として今回の事件を重く受け止め、町民の皆さまに深くお詫びするとともに、議員一同、改めて自らを強く律し、議会の信頼回復に努めてまいります。

インタビュー



シリーズ第8弾

町制施行 100周年記念特集

宇美町の歴史を見つめてこられた方々に
スポットを当てることにしました。

舞踊でつなぐ地域の絆 宇美町文化協会会長 世利岩夫さん(82歳)



世利岩夫さんが舞踊を始めるきっかけともなった、宇美小学校の母の会演芸会は、図書館に本を寄贈するためのチャリティ演芸会でした。

そのころから、舞踊は観る人を喜ばせるだけでなく、「地域をつなぐ絆」の役割も果たしていくのだと感じておられました。

以後高校時代そして青年団時代も舞踊を続けられ、全国青年大会にも福岡県代表として出場され、演劇大会で優秀賞、文部大臣賞を受賞されました。

忘れられないのは、全国植樹祭で天皇陛下（現上皇）が来福された際に、ホテルニューオータニで行われた前夜祭で「黒田節」を披露したときのことです。天皇陛下の前で披露する「黒田節」では、槍を使うのですが、槍をもってホテルに入ると私服警官に取り囲まれ、槍の持ち込みで厳重に注意を受けたそうです。

宇美町には古くから伝わる「宇美町小唄」があります。お母さまから受け継がれた歌詞をCDに吹き込み、振り付けも考案され、宇美八幡宮放生会の舞台でも披露されています。町制施行100周年を機に、「100年音頭」と合わせて、普及活動にも取り組まれています。

宇美町文化協会第4代会長の世利岩夫さんは、日本舞踊の花柳流師範【花柳柏之輔】です。

日本舞踊の道に入ったきっかけは、小学5年生の時に宇美小学校の学芸会で舞踊を披露し「とっても上手だったね」とほめられたことです。

舞踊はみんなを笑顔にし地域をつないでいく。現在会員数が減少傾向の文化協会ですが、町制施行100周年を機に、増加につなげたいと抱負を語られました。



宇美小学校の学芸会や母の会演芸会は、子安座（現宇美八幡宮保育園）で行われていました。（世利さんは中央右）子安座では全国座長大会等も開催されるほどの九州内でも優良な劇場で、もし現在も残っていたら観光名所になっていたかもしれません。



博多座では「藤娘」をはじめ何度も舞を披露されています。日本舞踊は姿勢も良くなり、心身の健康保持にはもってこいです。五感をフルに使うので認知症の予防にも大変効果的です。

議会からのお知らせ

議会を傍聴しませんか！

12月議会では、20名の方が傍聴に来られました。

議会は年4回（3月・6月・9月・12月）に定例議会が開かれます。役場本館3階の傍聴席入口で住所・氏名を記入し、ご入場ください。

次回の定例議会は、3月3日に開会予定です。

※ 詳しくは宇美町議会事務局（TEL092-934-2248）までお問い合わせください。

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会事務局のメールアドレスです。gikai@town.umi.lg.jp

【発行責任者】

議長 古賀 ひろ子

【議会広報常任委員会】

委員長 丸山 康夫

副委員長 平野 龍彦

委員 入江 政行

委員 安川 繁典

委員 南里 正秀

新委員 飛賀 貴夫

Gikaiboutyou Meter

議会傍聴メーター

2018年3月議会から
議会傍聴に来られた
人数です。

282